



図 41 建設改良費の見通し（本ビジョン策定時の事業計画に基づく）

P.34, 図 25 再掲

表 29 事業費（概算）の内訳

観点	目標	事業	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)
強 靱	災害に強い 水道システム の構築	施設耐震化事業	209,740	189,740	139,740	139,740	139,740
		管路更新・耐震化事業	312,455	312,455	412,455	412,455	412,455
		水害対策事業			40,000	28,000	28,000
持 続	健全で 持続可能な 水道事業運営	経年化施設・設備更新事業	560,983	571,883	410,983	410,983	410,983
	その他	施設・設備の延命化のための 改良費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
合計			1,183,178	1,174,078	1,103,178	1,091,178	1,091,178
内 訳	建設改良費（資本的収支）		1,083,178	1,074,078	1,003,178	991,178	991,178
	その他改良費（資本的収支）		100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

施策(1)ーイ) 適切な水質管理



【課題】 水源から給水栓までの、水質の監視・管理が必要です。特に、平成 28 年度に策定した水安全計画については、定期的に確認し、必要に応じて見直しが必要です。

具体的な事業・取り組み

◆ 水源～給水栓の水質監視 〔継続〕

これからも安全な飲み水を供給するために、水源から末端給水栓までの水質に変化や異常がないかを監視します。地下水において水質変化の兆候が見られた場合は、水源の一時中止や浄水処理方式の変更を検討します。

◆ 貯水槽設置者への指導と直結給水の推進 〔継続〕

貯水槽水道においては、タンク内部の点検・清掃といった衛生管理が適切に行われるよう、今後も設置者に対し「適正な管理」について通知します。

また、管路の布設替えに併せて管口径の適正化を行うほか、貯水槽水道から直結給水方式への切替えに関する情報発信に努めてまいります。

◆ 水安全計画の運用 〔内容の見直し〕

本市水道事業の「水安全計画（平成 28 年度策定）」では、水源から給水栓・貯水槽水道に至る水道システム全体において、起こりうる多様な危害（水質悪化、人為的テロ、配水管腐食など）を想定し、それに対する管理措置や問題発生時の対応方法をマニュアルとしてまとめました。

今後は、水安全計画を適切に運用できるよう、職員への周知徹底や定期的な訓練を行うとともに、定期的な確認により、運用上の不具合や新たな危害が想定された場合には、見直します。

◆ 管洗浄の実施 〔継続〕

配水管路においては、管内に経年付着する鉄さび等による濁りの発生を予防するために、今後も定期的に管洗浄を実施します。

